

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
出生・発達分科会（第26 期・第8回）
議事要旨**

1. 日 時 令和6年8月28日（水）9：30～10：30

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人、藤井知行（以上、会員）

石崎優子、神尾陽子、島 蘭 進、柘植あづみ、

古庄知己、水口 雅、水野紀子（以上、連携会員）

4. 議事録作成者 石崎 優子

5. 議事概要

古庄知己連携会員より、「18トリソミーのある子どもへ“普通の医療”を届けるーそして出生前検査への取り組みを通じてその本質を考える！」と題して、18トリソミーのある子どもへの国内外の医療を歴史的背景について話題提供があった。長野県立こども病院からの世界への発信、米国における13トリソミー、18トリソミーへの診療の推奨事項や、絶対的に予後介入と考えられていた子どもへの積極的治療の取り組み、家族会への調査結果、出生前診断と遺伝カウンセリング、妊娠中絶に対する産婦人科医と小児科医の立場の違いなど最近の話題について情報提供がなされた。

以上